



自衛隊栃木地方協力本部

佐野日本大学短期大学「みかも祭」で広報展 ～日本の未来を担う若者へ自衛隊の魅力を！～



自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村 1 空尉）は10月22日（日）、佐野日本大学短期大学（栃木県佐野市）で行なわれた「みかも祭」に東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を行った。

広報展では野外炊具1号、野外炊具2号、人命救助システム、宿営用天幕、1/2トトラック、31/2トトラックの展示及び制服試着が行われ、事前告知していたこともあり、多くの子供たちや学生が自衛隊ブースを訪れた。来場者は制服試着や自衛隊車両を背景に写真撮影を楽しんでいた。また、宿営用天幕や野外炊具の見学及び説明を行い、多くの来場者に自衛隊の活動に対して理解してもらったことができた。短大の学生から「自衛隊がカッコいい〜！自衛官になりたい！」という場面も見られた。

足利地域事務所は「今後も、幅広い世代で自衛隊の理解を得られるよう、多くのイベントに参加し、皆様に楽しんでもらうとともに、自衛隊の魅力を伝えていく」としている。



芭蕉の里くろばね秋まつりで広報展 ～地域団体の協力でPR効果UP～



栃木地方協力本部大田地域事務所（所長 高井 1 陸尉）は、10月22日（日）、大田原市那珂川河川公園で実施された「芭蕉の里くろばね秋まつり」において中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け、広報展を実施した。

広報展では、有事の際に活躍する車として、軽装甲機動車、高機動車の展示、制服試着及び装備品のタペストリー展示を行った。併せて、大田原市役所が自衛隊の試験日時等を記載したウエットテッシュを無料配布するほか、防衛協会大田原支部及び自衛隊家族会大田原支部から広報展の支援を受けるなど、地域全体で自衛隊のPRを実施した。同まつりの来場者には「今年、自衛隊を受験したい」と話してくれた人や「兄が自衛官で、来年自衛隊を受験したい」と話してくれた高校生もいて、未来あふれる貴重な人材確保へ大きく前進した。

大田原地域事務所は、「今後も、様々な地域イベントに参加し、地域の理解を広げるとともに、志願者獲得に繋げていきたい」としている。

